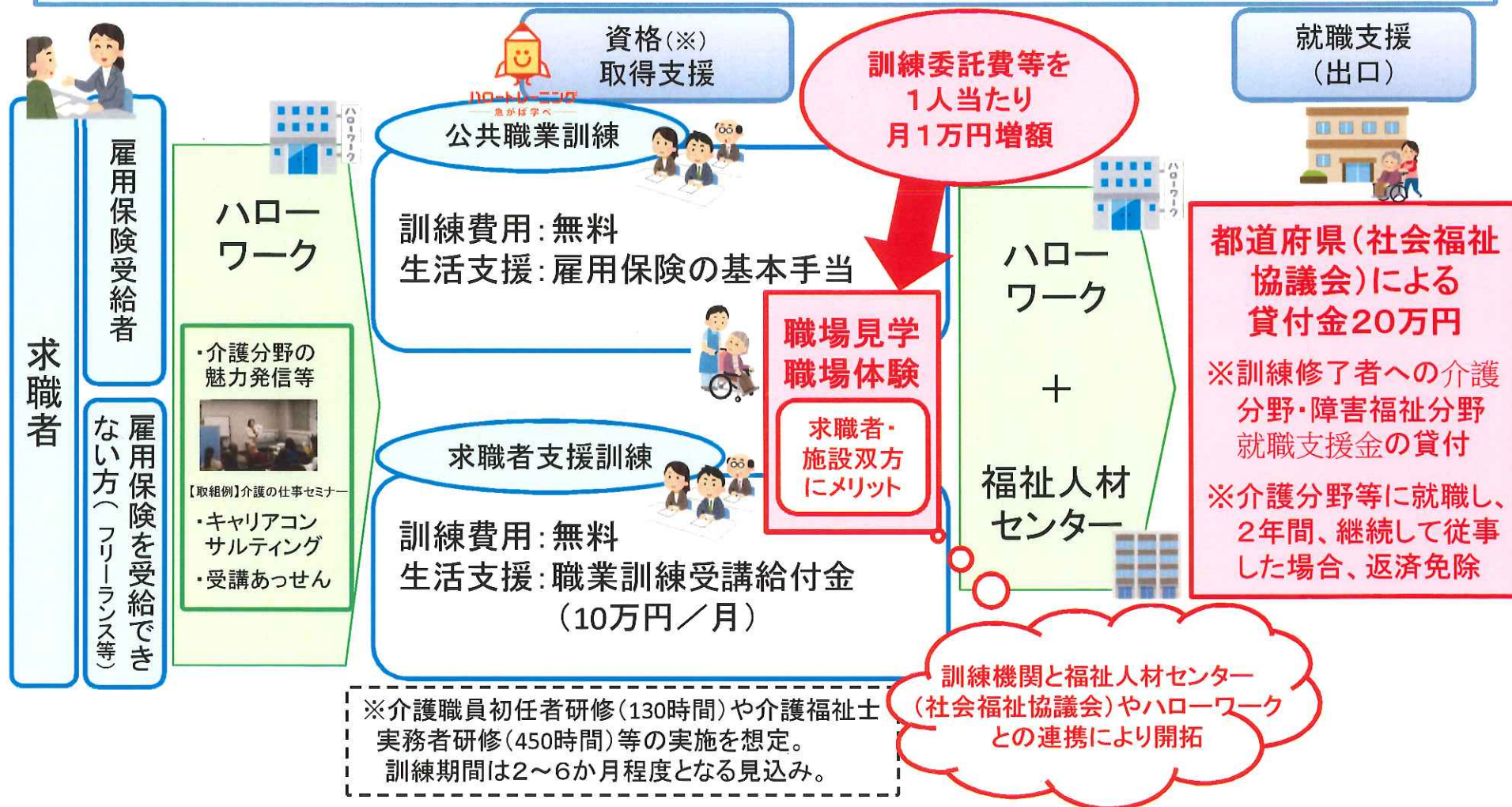


雇用と福祉の連携による離職者への介護・障害福祉分野への就職支援パッケージ

新型コロナウイルスの影響による離職者の再就職や、介護・障害福祉分野における人材確保を支援するため、

- ・ ハローワーク、訓練機関及び福祉人材センターの連携強化による就職支援
- ・ 介護・障害福祉分野向け訓練枠の拡充、訓練への職場見学・職場体験の組み込み、訓練委託費等の上乗せ
- ・ 都道府県社会福祉協議会による介護分野、障害福祉分野に就職した訓練修了者への貸付金制度の創設等を実施する。



求職者

雇用保険受給者

雇用保険を受給できない方(フリーランス等)

ハローワーク

・介護分野の魅力発信等



【取組例】介護の仕事セミナー

- ・キャリアコンサルティング
- ・受講あっせん

公共職業訓練

訓練費用: 無料
生活支援: 雇用保険の基本手当

求職者支援訓練

訓練費用: 無料
生活支援: 職業訓練受講給付金(10万円/月)

職場見学
職場体験

求職者・施設双方にメリット

ハローワーク

+

福祉人材センター

就職支援(出口)

新 介護分野就職支援金貸付事業の創設

【要求要旨】

令和3年度予算額: 地域医療介護総合確保基金の新規メニュー

介護人材については、慢性的な人手不足に加え、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や利用者が感染した場合の対応等によって、高齢者介護施設等における業務が増大し、人手不足が更に深刻化しており、より幅広く新たな介護人材を確保する観点から、他業種で働いていた方等の**介護分野における**介護職としての参入を促進するため、地域医療介護総合確保基金において新たに返済免除付き貸付事業「介護分野就職支援金貸付事業」を新規事業として創設する。

【事業内容】

新型コロナウイルス感染症の影響により、介護人材不足が一層懸念されることから、新たに返済免除付き貸付事業「介護分野就職支援金貸付事業」を創設し、他業種で働いていた方等の**介護分野における**介護職への参入促進を支援することにより、迅速に人材確保を加速化し、「介護崩壊」の恐れを未然に防止することを目指す。

○介護分野就職支援金の創設: 20万円

